

シリーズ 市民美術展入賞作品紹介
わたしの作品



おかだ えつこ
岡田悦子さん

【書道】

市展賞

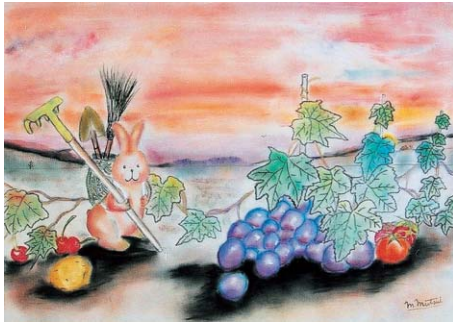
せいこう
静香

「静」は母の名前から、「香」は私がお香を楽しむのが好きなことから作品の文字と決めました。イメージしたままを書くことは難しく、この作品も墨の色としなやかさがもう少しほしかったところです。書道の魅力は、作品をつくるときに集中できることです。これからは、普段からこまめに筆を持ち、イメージそのままに書けるようになりたいと思っています。

【デザイン】

ユネスコ協会会長賞

いえじ
家路



むついまさのぶ
六井正信さん

「見ている人がホッとするような、やさしい絵をかきたい」といつも思うっています。この作品は、一日の収穫を無事に終え、家に帰るまでの喜びやうれしさを表現しようと思ひ、小さい頃から好きだったうさぎと果物を基にイメージを広げました。自分のかいた絵を欲しいと言われた時は、本当にうれしかったです。



もりもとまさえ
森本正枝さん

「手ではなく、足で描く」。作品を描き始める前には、納得のいくデッサンができるまで何度も、その場に足を運びます。この作品は、牛の重量感や大きさだけでなく、子牛のかわいらしさや親牛の子を思う優しさを見る人に伝えられたらと思ひ描きました。これからも、自然につくりだされる造形に感動し、それを作品にしていきたいと思ひます。



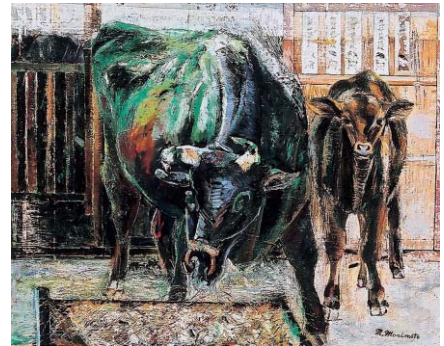
【工芸】

市展賞
ぬのめもんはんもんかき
布目文斑文花器



ほさきよしりのり
保崎義範さん

若い頃、陶芸の奥深さに魅せられていた私ですが、仕事の関係で陶芸から離れていました。二十三年間のブランクを経て、ある個展をきっかけに二年前から再開しました。釉薬の吹き付けに気を配り、斑文がうまくできるか焼きあがるまで不安でしたが、納得のいく作品に仕上がりました。初の出展となる今回の作品で賞をいただき、とても喜んでいきます。次は、大皿にチャレンジしようと思ひます。



【洋画】市展賞

きすな
絆